

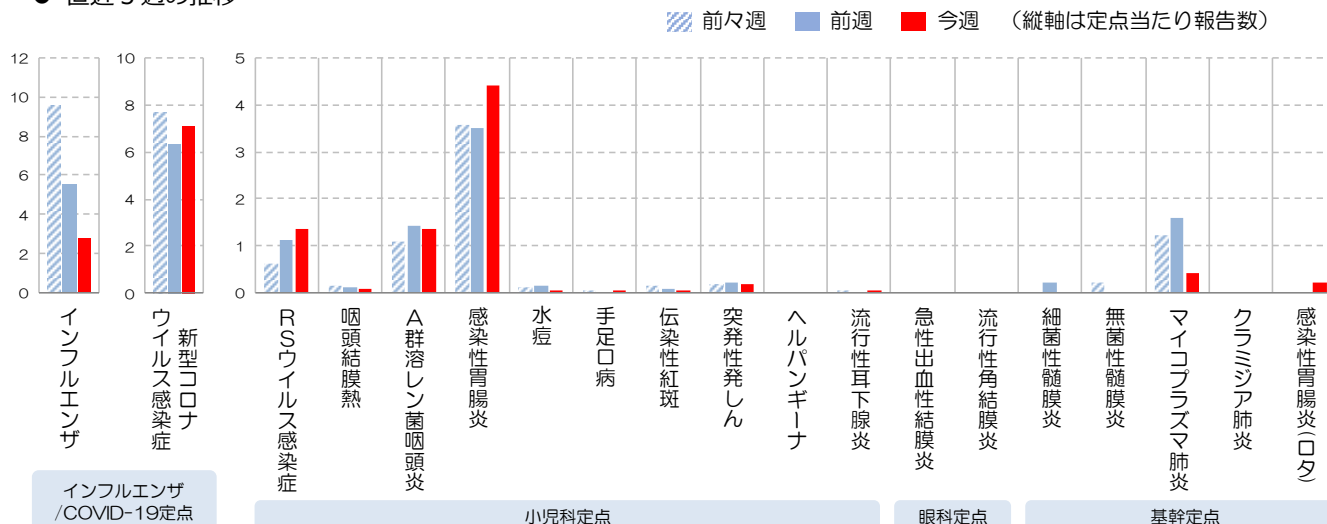
今週の主な動向

- インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の患者報告数が高い状態で推移しています。
- その他の感染症にも流行の兆しがみられるため、飛沫感染や手指を介した接触感染などに注意が必要です。

定点把握対象疾患

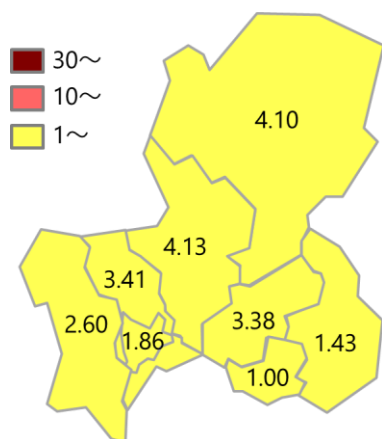
<インフルエンザ/COVID-19 定点：87 か所、小児科定点：53 か所、眼科定点：11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

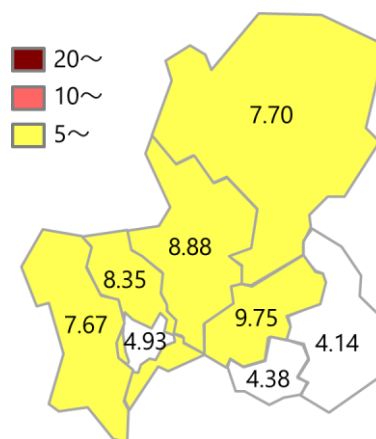


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

<インフルエンザ>



<新型コロナウイルス感染症>



※岐阜県ホームページ掲載：『この冬も感染対策の徹底を』

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/408558.html>

全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 6 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：つつが虫病 1 例、レジオネラ症 1 例

- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 6 例、百日咳 4 例

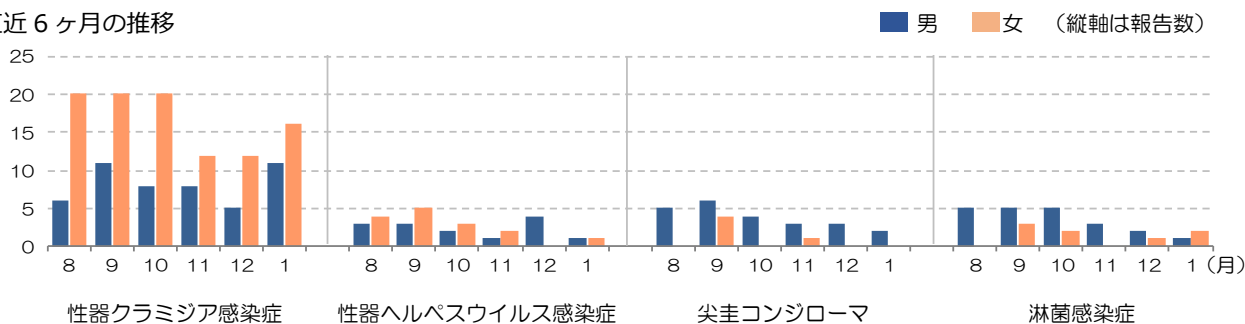
今月の主な動向

- 大きな動向の変化は見られません。

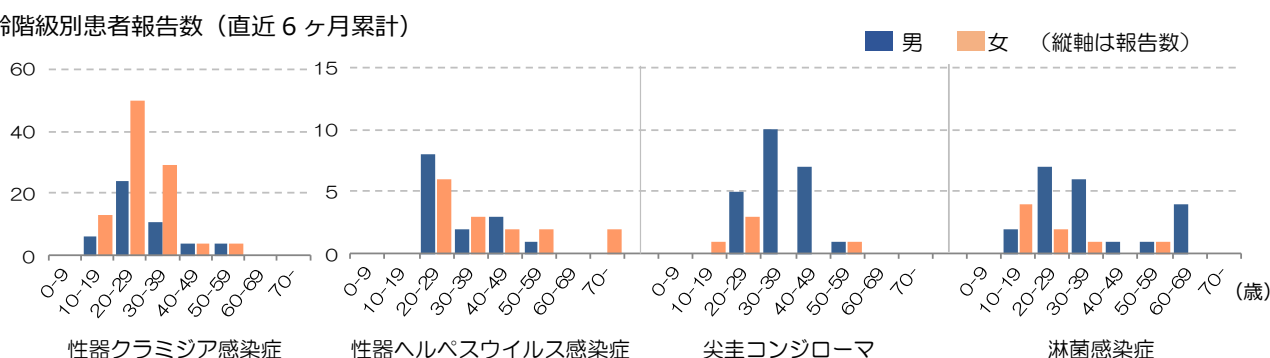
定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

● 直近 6 ヶ月の推移

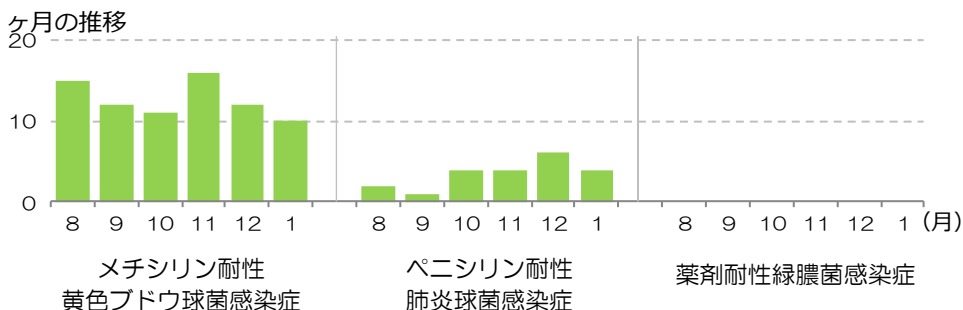


● 年齢階級別患者報告数 (直近 6 ヶ月累計)



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近 6 ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況(令和 7 年 2 月 9 日現在結果判明分(新規検出分):月 は採取月を示す)

臨床診断名	病原体名 (遺伝子検出を含む)	7月	8月	10月	11月	12月	1月	2月
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH1pdm 型				1	9	28	1
	インフルエンザウイルス AH3 型							1
腸管出血性大腸菌感染症	<i>Escherichia coli</i> OUT:HUT VT2						1	
A 群溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4 型						3	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264 型							1
咽頭結膜熱	アデノウイルス 2 型						1	
感染性胃腸炎	パレコウイルス遺伝子			1				
無菌性髄膜炎	エコーウイルス 11 型					1		
流行性角結膜炎	アデノウイルス 54 型	1	4					
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1						1	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	<i>Serratia marcescens</i> カルバペネマーゼ非産生						1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	<i>Streptococcus pyogenes</i> T28						1	

※詳細は HP をご覧ください (毎週更新) <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/107047.html>